

説教学

緒論 説教とは何か？

説教の定義

- (1) 通俗的には、講談社『日本語大辞典』（1989）に、2番目の意味として「堅苦しい態度で忠告・教訓をすること」とあるように、あまり効果がないことが揶揄（やゆ）されているようである。（キリスト教辞典 いのちのことば社）
- (2) 一般的には、「宗教で、教えを説き聞かせ、人を導くこと」とされる。ウェブスターのニュー・インターナショナル・ディクショナリーでも、「宗教的な主題を公に講演すること」と説明されている。前記の『日本語大辞典』にも、「キリスト教では礼拝における主要素の一つ。聖職者が聖書の内容を現実の問題に照らして解きあかし、神の導きを悟らせる行為」とあり、現代日本で説教と言えばキリスト教の説教が連想されることが多く、しかも内容的にもかなり正確に理解されていることがわかる。（キリスト教辞典 いのちのことば社）
- (3) 聖書の福音的背景から言うならば、説教とは、説教者自身の人生観や宗教的思想、または神についての考えなどを教えることではなく、神のことばである聖書に記録された事柄、さらには、神が最終的にキリストによって語られた神の福音、キリストの福音を、神が当代において選任し派遣された神のしもべとしての説教者が、現代の人々に、聞かせ、理解させ、応答することを期待しつつ、宣べ伝えることである。その目的は、神のことばが、人のことばとしてでなく、神のことばとして受容され、聞く人々の心の中に信仰が与えられ、神御自身が意図されたように、人間の救いと再創造のみわがが聴衆の中になされることである。（キリスト教辞典 いのちのことば社）

ケリグマ 宣教

ディダケー 教え

「説教学」後藤光三 p.23

フィリップス・ブルックス

「説教とは、人による、人への真理の伝達である」

アルフレッド・ガービー

「説教とは、人間の人格を通して、永遠の生命のための、神的な真理の伝達である」

カイパー

「説教とは、超自然的に靈感された神の言葉なる聖書に啓示された真理の宣教である」